



超分別ゴミ箱

Super Sorted Garbage Bin project 1995-2024

コンビニの商品棚はどこか博物館の化石展示室に似ている。
日々の商品をゴミ箱として保存すると、それは現代の貝塚になるだろう。

「ゴミの分別を徹底的に推し進めていくといったい何になるのか？」という疑問からスタートしたプロジェクト。
これを実際に実現してみると、それは「現代の生活」を象徴するアーカイブとなっていた。



超分別ゴミ箱実行委員会ディレクター：藤幡正樹
80年代からメディア・アートの先駆者として活動。
1996年には、日本人として初めてアルス・エレクトロニカ・ゴールデン・ニカ賞を受賞。1989年から慶應義塾大学、1998年から東京藝術大学で教鞭をとり、2005年同大学大学院映像研究科の設立に貢献。2022年には、日系人の強制収容をテーマとした「BeHere/1942」展をロサンゼルスで実現。



超分別ゴミ箱プロジェクトとは

1995年の慶應義塾大学藤幡研究室において、長峰宏治を中心メンバーとした研究発表を発端とし、2023年に再起動した「ゴミ」をテーマとした表現活動を行うソーシャル・アート・プロジェクト。2023年の東京ビエンナーレでは、「プラスチック」に焦点を絞り、アーティストと学校、さらにパートナー企業の7社とともに、「ラブ=プラスチック」のワークショップ、作品制作/展示、トークイベント等を多角的に展開しました。

<https://sites.google.com/view/ssgbpj>



【会期】 5月3日(金) - 6月28日(金)

【会場】 容器文化ミュージアム

【主催】 東洋製罐グループホールディングス株式会社

【協力】 株式会社エトワール海渡、東京都立工芸高等学校およびPTAの皆様

超分別ゴミ箱実行委員会：藤幡正樹、長峰宏治、乾義和、日沼智之、早淵仁美



〒141-8627 東京都品川区東五反田 2-18-1
大崎フォレストビルディング 1階

開館時間 平日 9:00~17:00

入場料 無料

ホームページ <https://www.package-museum.jp>

お問い合わせ E-mail: contact_museum@tskg-hd.com
東洋製罐グループホールディングス株式会社
TEL: 03-4531-4446 FAX: 03-3280-8111

アクセス

JR 山手線
JR 湘南新宿ライン
JR 埼京線
東京臨海高速鉄道りんかい線
大崎駅
北改札口を出て東口より徒歩 6分

JR 山手線 五反田駅 中央改札口を出て東口より徒歩 8分
都営浅草線 五反田駅 A3 出口より徒歩 8分
東急池上線 五反田駅 徒歩 8分

